

団体名：子どものたまり場すこやかひろば

活動地域：立川市

助成額：49,837 円

ホームページ：<https://sukoyaka-hiroba.mokuren.ne.jp/>

【当初の目的に対しての結果】

2023 年 4 月より、コロナ感染が収束したため、今までパントリー形式で実施してきたすこやかひろばを「食堂+パントリー」形式にして、公式 LINE アカウントを使った予約方式にしました。そのことによって、LINE で予約が困難な方、大人の 300 円会費を負担に思われる方などの参加がなくなり、一年を通してリピーターを中心に 1 回の開催で 1 組の家族の参加で実施してきました。

運営に関しては、調理を中心に地域の方、高校生、中学生が参加してきており、50 食のお弁当づくり、お米の小分け作業、パントリーでお渡しするカップ麺・レトルト食品・お菓子の用意など助かっています。パントリーが定着したことからなかなか一緒に食事をする食堂形式への参加が増えないので、2024 年 12 月から「プラスワン企画」を実施しています。12 月は「子どもと一緒にケーキづくり、1 月「お汁粉を食べませんか」、2 月「おだんごを食べよう」、3 月「さくら餅を食べてください」の企画を行いました。そのことによって、食材とお弁当を持ち帰るだけではない状況が生まれています。

【組合員へのメッセージ】

昨年から引き続き、物価の高騰が国民生活を苦しくさせています。特に毎日食べるお米の価格は、昨年 7 月と比べて約倍に値上がりしています。すこやかひろばでは、お弁当と一緒にお米、カップ麺、レトルトなどの食材を配布していますが、一時期米の配布を制限しました。学校給食用政府備蓄米の支援を受けることができるようになり、お米の配布を再開することができました。しかし、この支援もいつまで受けられるかわかりません。気候変動もあるでしょうが、野菜の値段が乱高下したり、手に入りにくくなったりしています。そうした中で東都生協さんからの野菜の提供はみなさんに大変喜ばれています。

【感想・意見・要望など】

子ども食堂が認知され、各自治体でも支援が行政として行われています。三多摩でも、立川市のお隣の国立市、昭島市、日野市でもそれぞれ行政として東京都の助成を使って支援を行っています。立川市は、前市長がかたくなに子ども食堂への支援を拒否していましたが、市長が変わり今年度（2025 年度）から支援が始まります。支援の内容、要綱についてはこれから詳細を検討して対応し

ていきたいと思っています。



実施日 : 2025年4月13日(日)
実施場所 : 羽衣中央会館
参加 : 18家族・59食
ボランティア14人(学生3)
子ども34人
パントリー形式+食堂形式

♥メニュー

キーマカレー+コロッケ
蒸かしまんじゅう

♥食材支援

- 東都生協から野菜をいただきました



- 錦町にあるパン屋さんからパンをいただきました



- 農林水産省給食用備蓄米



- 今月のメニューは、トマト缶を使ったキーマカレーでした。玉ねぎ、にんじん、シイタケをみじん切りにして、それに合い挽き肉とカレー粉を入れて作りました。

- プラスワン企画のおやつは、抹茶まんじゅうとサイコロ状のお芋いり蒸しパンです。



- 蒸し器は羽衣児童館で借りました。



- 外は雨が降っていましたが、一緒に食事をしてくれるご家族がありました。



- 立川の曙町の方が見学兼お手伝いで来てくれました。羽衣町の方3名もお手伝いに来てくれました



♥来月開催のお知らせ

H時5月11(H)

場所 羽衣中央会館

メニュー たけのこのまぜご飯(予定)

ホームページ

URI: <https://sukoyaka-hiroba.mokuren.ne.jp>